

胎内市地域公共交通網形成計画（素案）に対するパブリックコメントの結果について

令和元年9月25日

1 意見の募集期間

令和元年7月17日～7月31日

2 意見総数

29件

3 意見の概要及び市の考え方

以下の表のとおり。

No.	ページ	内容	市の考え方
1	1	P1で（以下「のれんす号」という）と定義しているが、「デマンドタクシー」という記載があるため、「のれんす号」に統一すべきでは。年次で使い分けているようだが、知らない読み手は混乱する。	御指摘を踏まえて、「のれんす号」に統一し、本文中に注意書きを追記しました。
2	9	【①-1】達成状況における人数の単位を明確にすべきでは。人/日のように。	御指摘を踏まえて、「人/日」の単位を追記しました。
3	9	【①-1】改善点における従来のPR方法と今後のPR方法を明確化すべきでは。	御指摘を踏まえて、従来のPR方法を追記しました。 なお、今後のPR方法については各施策に記載しており、御指摘の箇所に対応する施策は施策19、施策20、施策21を想定しています。
4	10	【①-2】利用者少数の原因は？そこを明確化しないと対応策が打てない。	御指摘を踏まえて、利用者少数の原因を追記しました。
5	10	【①-3】1台増車した結果の利用者の変化は？従来○人？⇒○人？	利用者数の増加を目的とした増車ではなく便数を増やすことにより、利便性を向上させることを目的とした増車のため、数値の比較はしていません。
6	10	【②-1】ホリデー胎内のPR方法および利用実績は？のれんす号利用の実績とPR方法は？	ホリデー胎内については、市報やパンフレット及びホームページ等でPRをしていましたが、運行の最終年度である平成24年度は8.4人/日の利用実績でした。 なお、のれんす号利用の実績とPR方法については、御指摘を踏まえて、日祝の利用実績に係る注意書きとPR方法を追記しました。

No.	ページ	内容	市の考え方
7	11	【②-2】利用実績とPR方法は？	御指摘を踏まえて、利用実績を追記しました。 なお、今後のPR方法については本計画の各施策に記載することとしており、御指摘の箇所に対応する施策は施策6、施策12、施策14、施策21、を想定しています。
8	11	【②-4】利用実績は？	バス停方式の「ぐみの郷線」からドア to ドア方式の「のれんす号」への転換は財政的な効率化を主眼としたものであり、廃止前の利用実績の記載はしませんが、「ぐみの郷線」の運行の最終年度である平成25年度の利用実績は17.1人/日でした。
9	12	【③-1】検討した具体の各種事業は？	御指摘を踏まえて、検討した各種事業を追記しました。
10	12	【③-2】合意形成ができなかった理由は？原因は？	御指摘を踏まえて、理由を追記しました。
11	9～12	具体的に何をやって、何ができなかったか。できない理由。結果の効果等（測定値）がどうなのかを明確化する。ここが無いと今後の対応策が打てない。	第2次胎内市地域公共交通総合連携計画における達成状況につきましては、目標値等の明確な設定がなかったことから効果測定が不明確になっていることは否認ませんが、各施策につきましては、それらに加えて社会情勢やアンケート等による現状分析を踏まえて、今後の改善点を課題として洗い出して反映しておりますので、ご理解をお願いいたします。
12	13～14	それぞれに現状をふまえ、よって「〇〇の対応策が必要」等にまとめる。あるいは後段で示す施策Noを明示する。読み手としては「だから何なの？」にしかない。	構成上、現状と課題を別建てで記載していますので、原文のままいたしますが、御指摘を踏まえて第5項、第6項の冒頭に各項の目的を追記し、理解が進むよう工夫しました。
13	13～16	5項と6項をまとめた方が理解がすすむ。	
14	13	パークアンドライドとは？特にカナ用語の解説要。	御指摘を踏まえて、カナ用語や専門用語については、参考資料として用語解説を追記しました。
15	13	人口カバー率100%の意味？	御指摘を踏まえて、「人口カバー率100%」の記載を削除しました。
16	14	別掲でよいので財政負担額の年次毎の内訳を明確化する。文章だけでは理解不能。	御指摘を踏まえて、グラフを追記しました。
17	17	抽象的な標語と具体的なイメージ図がマッチしない。	御指摘を踏まえて、イメージ図は「7-2基本方針」の後段に移動しました。
18	18	目指す将来像としてはここで示す基本方針1、2、3の方が具体的で分かり易い。	
19	18	持続可能の追及としてSDGSの手法を使って検討、検証してみてもは。	御指摘を踏まえて、施策の進捗管理、目標達成状況の評価の際の参考にさせていただきます。

No.	ページ	内容	市の考え方
20	19～ 36	<p>様々なステージに於いて理想的な交通システムを列举し、費用対効果など検証、結果として「のれんす号」を選択したプロセスの説明が必要。</p> <p>のれんす号万能では無いはず。ここは実際の利用者の意見収集、同意を得る必要がある。</p> <p>分析に当たっては現有の全ての移動手段（福祉・教育・作業車・市長車・民有車）を見える化して有効活用を検討する必要がある。</p>	<p>市の上位計画である「第2次胎内市総合計画」や各種関連計画において「のれんす号」を基軸とした公共交通網の形成を目指していることから、本計画期間において、他の移動手段への大幅な方針転換は難しいと考えますが、「のれんす号」だけでは補完できない部分について、施策の進捗管理、目標達成状況の評価の際の参考にさせていただきます。</p> <p>また、御指摘を踏まえて、「7-2基本方針」冒頭部分の記載を追記しました。</p>
21	21～ 36	<p>本計画による実行計画などは設定しないようなのでより具体的な内容にする。目標は計測可能な数値化する。実施主体の中の責任主体者を明確化する。</p>	<p>御指摘を踏まえて、各施策における実行計画や数値目標の設定が必要なものにつきましては、今後、協議会において設定の必要性を協議してまいります。</p>
22	21	<p>施策1定期券購買者を交通弱者に限定するのか？一般者を除外する理由は？現状の販売数は？</p>	<p>定期券は自動車運転免許証を持たない交通弱者の定期的・日常的な移動に係る経済的負担を軽減することを主眼に置き、施策を通して基本目標の成果達成を目指しているため、販売目標等は設定しませんが、現状の販売数は平成30年度において、18.9人/月となっています。</p>
23	21	<p>施策2想定される利用者数は？</p>	<p>施策を通して基本目標の成果達成を目指すこととしており、利用者数の想定はしていません。</p>
24	24	<p>施策5対象駅は？</p>	<p>御指摘を踏まえて、駅名を追記しました。</p>
25	31	<p>施策14例示がないので具体の実施内容がイメージできない。</p>	<p>御指摘を踏まえて、例を追記しました。</p>
26	33	<p>施策16回数券22枚の設定根拠は？</p>	<p>補助事業導入時に近隣自治体の支援状況等を勘案し設定しています。</p>
27	34	<p>施策19現時点で想定されるイベント名を列举する</p>	<p>御指摘を踏まえて、イベント名を追記しました。</p>
28	21～ 36	<p>施策11、12、13、17、20、21現在実施中の施策を再掲する意味は？何か改善など加えるならその点を述べる。</p>	<p>現在実施中の施策も計画上の位置づけや事業の目的を明確にするため、改めて掲載しています。</p>
29	37	<p>進捗管理には必ず利用者や市民を加えること。各施策の進捗管理シートを作成し各年度に公表すること。</p>	<p>御指摘を踏まえて、施策の進捗管理、評価の際の参考にさせていただきます。</p>